

日本には多くの桜の種類があり、それらは花木として古くから親しまれてきているのですが、ソメイヨシノ以前で、単に「桜」といえば、それはヤマザクラのことでした。ヤマザクラは宮城、新潟両県以南から九州屋久島、対馬、済州島に普通に分布する落葉広葉樹で、吉野の桜はもちろんこれです。ソメイヨシノとほぼ同時かあるいはほんの1、2日遅れて開花しますが、開花に先だって葉が開き始めます。花(鼻)より葉(歯)が先に出る、と言うのでそのような人を「ヤマザクラ」と呼んだりしたものです。花は色、大きさにいろいろ変異があり、それこそ一株一株違うほどですが、一般に淡い桜色から桜色で、ソメイヨシノの花よりやや小さいものから一回り大きいものまであります。花後、黒紫の小さなサクラノボをびっしりつけます。

鑑賞する上でソメイヨシノとの違いは、新

葉が美しい紅～茶色で花と一体となって極めて美しいこと、花後実がなって小鳥が集まること、樹皮がいわゆる桜皮で美しく、皮目が面白いこと、そして寿命が長く、大木になること、などがあり、たいへん花木として優れています。手軽で派手ですぐに花が咲くという点ではソメイヨシノに分がありますが、艶やかでしかも落ちついた美しさという点ではヤマザクラの方がはるかに優れているといえましょう。

聞くとところによるとOBの寄付金で角間キャンパスに桜並木を作る計画があるとのこと。周囲が美しい森に囲まれたこのキャンパスにこそ、けばけばしいソメイヨシノでなく、ぜひ、しっとりとしたヤマザクラの並木を推薦したいと思います。

(金沢大学教養部助教授；生物学)

Information Processing

30円で買える学術情報

橋 洋平

朝日新聞の連載マンガの中に次頁のようなものがあつた。私はこれを見て、情報社会の特徴について鋭いところを突いているな、と感じた。

このマンガから言えることは、

- 情報を持っていると商売になる。
- 情報を得るにはお金が必要である。
- しかし、30円でも役に立つ情報は得られる。
- そういうことは常識になっていて、子供でも知っている。

ということである。こういう世の中を「せちがらい」と感じるか「時代の趨勢」と感じるか、人によってとらえかたは違うが、研究者の求める学術情報を提供するのが仕事である

大学図書館の情報サービスについてもこのマンガの状況がそのままあてはまるようになった。

FAXもオンライン端末もなかった従来の大学図書館で得られた学術情報は、自分の図書館内に蓄えられている情報がほとんどだった。カード目録で分類番号を探し、書架で本を探すだけだった。探せる情報量は少なかったがその分タダだった。

図書館の閲覧課という組織名が情報サービス課という名称に変わった現在、学術情報提供の方法も大きく変化した。学内の図書はもとより全国の大学図書館で所蔵している図書や雑誌をオンラインで検索することができる

ようになった。そういう資料は ILL (Inter Library Loan) システムを通して、コピーを入手したり現物を借用したりできるようになった。しかし、探せる情報量が増え、通信を利用する分だけお金が掛かるようになった。

全国の大学図書館で所蔵する図書や雑誌の情報など研究に役立つ学術情報は東京の学術情報センターの巨大なデータベースの中に保管されている。そのデータベースの中を探すシステムが NACSIS-IR である。全国の大学図書館員はこのデータベースを更新、追加、修正し、そこに登録されている資料そのものを提供する仕事を毎日しているのである。このシステムは、図書館でも利用できるが、わざわざ出向かなくても研究室の端末からでも利用できる。オンライン目録のメリットである。

面白いことに、NACSIS-IR の目録所在情報データベースを検索するのに掛かる料金は、このマンガと全く同じ30円である。まさに、「どこの図書館で所蔵していますか？」と尋ねると30円請求される—という具合である。そこで得られる情報は、子供に図書館を尋ね、30円払って獲得できる情報に比べるとかなりコストパフォーマンスが高いものである。現

フジ三太郎

サトル サンペイ



朝日新聞(一九九〇年十二月十八日付)より転載

在は、お金を請求されてげん顔をするフジ三太郎のような方が多いせいか、まだそれほど多く利用されていないが、雑多な情報があふれている状況を考えると、このデータベースが研究者にとってなくてはならないレファ

レンス・ツールの一つとして活発に利用される日も近いのではないか、と思う。

(金沢大学附属図書館情報サービス課参考調査係)

地域経済文献情報

生田 真人 大都市圏における商業集積の空間分析
(季刊経済研究 [大阪市大] 13-3 36p)

石川 允 物流インフラ整備と都市計画
(都市問題 82-3 12p)

Ishida Hiroshi An English-Japanese Lexicon for Area Studies
(福山大経済学論集 15-1 17p)

Ishida Hiroshi Terms and Key Words for Area Studies—Some Supplementary Explanations and Discussions about A Bilingual Cross-Cultu

ral Lexicon for Area Studies
(福山大経済学論集 15-2 29p)

*石田 頼房 都市農業と土地利用計画
(日本経済評論社 1990/12 376p)

石塚 孔信 住宅市場の空間的均衡について
(経済学論集 [鹿大] 33 9p)

石丸 哲史 わが国諸都市における事業所サービス業の立地動向
(経済地理学年報 36-4 15p)

伊東 維年 産業構造の転換と地方都市の工業(上)
(熊本商大論集 37-2 29p)